

「信頼」でつくる、くらしの安心と地域の未来。

県政レポート春号

埼玉県議会議員(上尾市・伊奈町選出)

まちだ皇介

こうすけ

まちだ
皇介
プロフィール

1979年7月31日生。身長188cm。上尾市緑丘在住。

桶川市立川田谷小学校、桶川西中学校、蕨高校、日本大学商学部卒業。

大学卒業後、テレビ番組制作会社、代議士事務所勤務。

2007年 上尾市議会議員に28歳で初当選。以後、3期連続当選。2017年 上尾市議会副議長。

2019年 埼玉県議会議員(南13区上尾市・伊奈町)に初当選。2023年 2期目の当選。



予算特別委員会にて、「教員の人材確保策」などについて問う

本県の教員志願者を増やす取組の強化を!



まちだ皇介 Question

産休・育休取得者や精神疾患の休職者の増加など、教員の必要数も年々増加しており、未配置・未補充の問題など、喫緊に解決すべき課題にも対処できていない。

教員の一番のネックになっている長時間労働の是正とともに、金銭的な処遇の改善も必要と考える。教員の処遇改善(給与の増額)については、中央教育審議会の特別部会が、現在、議論をしており、4月中にも一定の方向性が出ると言われている。本県が進めている各種取組により、働きやすい環境整備が更に進み、金銭的な処遇改善への道筋がつけば、教員を志願する人も、また増えていくのではないかと。

埼玉県では、本県の教員になる魅力の力点をどこに置き、志願者を

教育長 Answer

本県は、豊かな自然や文化遺産にも恵まれ、都市の賑わいと便利さを持ち、渋沢栄一翁をはじめとした偉人を輩出しているなど、豊富な教育資源を有している。また、本県独自の学力・学習状況調査により、子どもの学力の伸びを把握することができ、それを踏まえた授業改善などの工夫を通して、児童生徒一人一人に応じた指

導ができると考える。さらに、本県の特徴を踏まえ、大学や民間企業などと連携し、地域ごとの様々な課題に応じた探究活動を推進することもできる。このような埼玉県独自の魅力に力点を置いて、志願者確保の取組を進めていきたい。



児童相談所職員の定着率を高める取組を!

まちだ皇介 Question

20代、30代の若い世代の離職(20代34%、30代22%/H31.4)が多く、精神疾患等の休職も20代が全体の50%と非常に高い。離職や休職の原因をどのように捉え、若手職員の離職率を低減する、定着率を高めていく取組を行っていくのか。

福祉部長 Answer

働きやすい環境づくりが重要である。このため、所属長、グループリーダー等の職員と共に、新規採用職員指導員を配置して、若手職員のサポートに努めている。また、令和5年度は、児童相談所職員研修を実施し、現場の課題の洗い出し、魅力のある職場にするための検討を行った。

今後、この検討結果を踏まえて、職員がいきいきと働ける、魅力の高い児童相談所を実現し、離職率の低減を図っていきたい。

令和6年度当初予算 4年連続2兆円超え

2月定例会が2月20日から3月27日の会期で開催され、2兆1,197億円(前年度比4.1%減)の一般会計当初予算や防災・減災、国土強靱化等の推進に係る費用などを盛り込んだ319億5,822万円の補正予算など、議員提出議案も含め、計90議案が可決、同意されました。

知事は、「歴史的課題への挑戦と未来への確かな布石」と位置づけ、「人口減少・超少子高齢社会の対応」として、全庁共通メタバス空間の整備や県立学校の出願手続のオンライン化、県内中小企業のDX支援、サキユラーエコノミーの推進、こども医療費助成制度の拡充、保育人材の確保、児童虐待防止策の強化など、各種施策に取り組んでいきます。

また、「激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への備え」として、埼玉版FEMAや埼玉版流域治水対策の推進、新たな感染症への備えなど、災害・危機管理対応力の底上げも図ります。

私たちの会派が要望していた県立学校の空調整備の公費負担(普通教室)も予算化されました。

上尾市・伊奈町に関する主な事業

◆埼玉版スーパーシティプロジェクトの推進

・プロジェクトに取り組む市町村への財政支援 **2億9,700万円**

エントリー市町村におけるまちづくりを着実に推進するための市町村への補助

①事業化検討補助	②事業推進補助
補助率 1/2*、補助上限額 500万円 まちづくりの事業化に向けた検討費用	補助率 1/2*、補助上限額 5,000万円 まちづくりに関するソフト・ハード事業

◆スポーツ科学拠点施設の整備【債務負担行為】

限度額 **149億円8,797万円**

Park-PFI事業者の公募・選定。

県が負担する整備費相当額について、事業期間で平準化。

期間: 令和7~38年度(令和9年度開設予定)

[事業スケジュール]

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年~38年度
入札公告・契約締結	設計・工事	開設準備	開設	民間による運営・維持管理

◆中央児童相談所の一時保護所の建替えに向けた設計等

1億453万円

学齢児童が過ごす居室を原則個室化、

[スケジュール(見込み)]

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
設計	解体	建設工事	新保護所開設・運営

予算特別委員会での まちだ皇介 の質問項目

- 学校における働き方改革の推進
- 魅力ある県立高校づくりの推進
- ICTを活用した遠隔教育・展開実証事業
- 中央児童相談所の一時保護所の建替え
- ICTを活用した児童相談所の業務効率化
- 分身ロボットを活用した障害者就労支援

活動報告

訪問介護の基本報酬引き下げ見直しの要望書を提出

4月からの介護報酬の改定により、訪問介護の基本報酬が引き下げとなり、小規模事業者の方々から切実な声をいただいています。ただでさえ、経営基盤が脆弱な小規模事業者への影響は大きく、雇用の確保も含め、事業の継続が困難となり、倒産が増えることになれば、地域の介護ニーズに応えられなくなる懸念もあります。

埼玉民主フォーラムとして、そのような状況を鑑み、訪問介護の基本報酬の引き下げの撤回・見直しや賃金の全産業平均並みへの引き上げなど、国に強く働きかけるよう3月26日、福祉部長に要望書を提出しました。



【発行】 埼玉民主フォーラム上尾・伊奈支部 〒362-0036 上尾市宮本町10-26 佐藤ビル102

TEL:048-729-6272 FAX:048-729-6342 Eメール machida188.machida@gmail.com

まちだ 皇介

検索 ▶ まちだ皇介 ホームページはこちらをご覧ください ▶▶▶



「信頼」でつくる、くらしの安心と地域の未来。

県政レポート春号

埼玉県議会議員(上尾市・伊奈町選出)

まちだ皇介

こうすけ

まちだ
皇介

プロフィール

1979年7月31日生。身長188cm。上尾市緑丘在住。

桶川市立川田谷小学校、桶川西中学校、蕨高校、日本大学商学部卒業。

大学卒業後、テレビ番組制作会社、代議士事務所勤務。

2007年 上尾市議会議員に28歳で初当選。以後、3期連続当選。2017年 上尾市議会副議長。

2019年 埼玉県議会議員(南13区上尾市・伊奈町)に初当選。2023年 2期目の当選。



八潮市内で発生した道路陥没事故とインフラの再構築に向けて

本年1月28日、八潮市内の県道で道路陥没事故が発生しました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。また、伊奈町を含む流域12市町の皆様には、一時的な下水道使用の自粛にご協力いただきましたことに、深く感謝申し上げます。この事故は、交通インフラと下水道施設に関わる重大な事案であり、県民の皆様には大きな不安と混乱をもたらしました。埼玉県では、事故直後から被害者救出を最優先に対応し、29日には危機対策会議を開催。その後、災害対策本部を設置し、災害救助法も適用され、応急対策や被災者支援が進められました。

私が所属する埼玉民主フォーラムでは、1月30日に大野知事、緊急要請を行い、人命救助の徹底、早期復旧、再発防止を強く求めました。2月定例会では、掘削作業や仮排水設備のバイパス工事などに必要な総額90億円の流域下水道事業会計補正予算が可決され、現在も応急工事が続いています。また、県は専門家による「原因究明委員会」と「復旧工法検討委員会」を設置し、事故原因の徹底調査と再発防止策の検討を進めています。加えて、県内の類似施設に対する緊急点検にも着手し、下水道インフラの安全性確保に向けた体制強化が図られています。

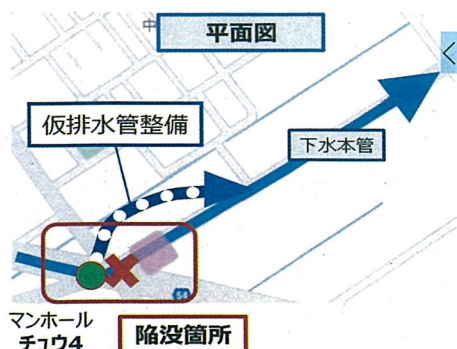


1月30日に早期復旧等を求め知事に緊急要請

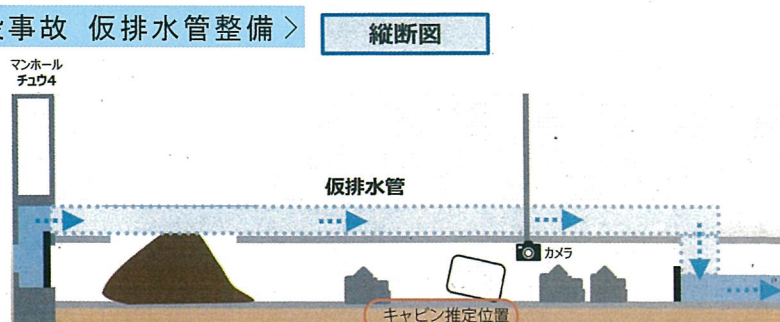
埼玉県では、高度経済成長期に全国に先駆けて流域下水道の整備を進めてきましたが、現在では施設の老朽化が深刻化し、維持管理や更新が大きな課題です。老朽化した下水道管の耐震化・更新には莫大な財源と時間を要します。人口減少と少子高齢化が進む現代においては、従来の一極集中型から小規模処理施設や合併浄化槽を活用する「分散型処理システム」への転換も重要な検討課題です。

私たち埼玉民主フォーラムは、予算特別委員会の総括質疑を通じて、下水道施設に限らず、県内インフラ全体のあり方を抜本的に見直す必要性について提言しました。

持続可能なインフラの維持管理に向けては、新技術の導入や官民連携、財源確保の工夫が不可欠です。引き続き、県民の皆様の安心・安全な暮らしを支える基盤整備の構築のため、全力で取り組んでまいります。



＜八潮市道路陥没事故 仮排水管整備＞



2月定例会報告

2月19日から3月27日までの会期で開催された2月定例会では、2兆2,309億円(前年度比5.2%増)の令和7年度一般会計当初予算や、八潮市で発生した道路陥没事故に伴う仮排水管のバイパス工事費など、復旧に向けた総額90億円の流域下水道事業会計補正予算を含む、計106議案が可決・同意されました。

今回の当初予算は、人口減少・超高齢社会や激甚化する自然災害などへの危機対応、「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた施策が幅広く盛り込まれています。

私たちがこれまで提言してきた、介護・医療人材の確保、保育士等の処遇改善、DXによる教職員の働き方改革、中小企業の人手不足や価格転嫁への支援、警察官の増員、精神障害者手帳2級所持者への精神科通院費助成など、新規・拡充の事業を含め、施策の前進が見られたことから、会派として賛成しました。

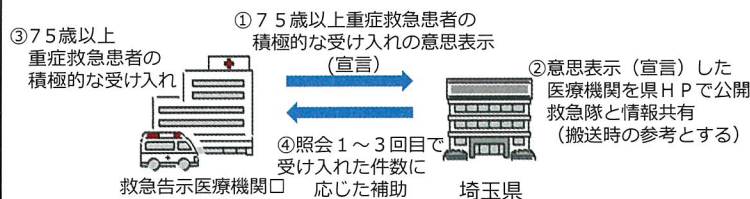
また、新年度からの所属委員会等の変更がありました。私、まちだは、議会運営委員会、総務県民生活委員会、自然再生・循環社会対策特別委員会に所属することとなりました。

令和7年度当初予算の主な新規事業

◆75歳以上の搬送困難患者の救急受入体制の整備

1億3,120万円

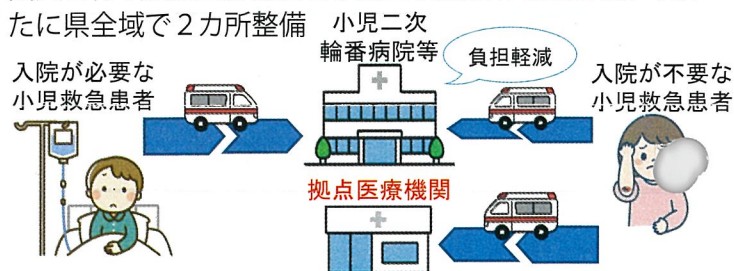
▶75歳以上の重症救急患者を積極的に受け入れるためのインセンティブとして、医療機関への補助制度を創設



◆夜間小児初期救急患者の受入体制の整備

4,448万円

▶夜間(22時~翌8時)における小児初期救急患者の受入を行う拠点医療機関を小児二次輪番体制とは別に、新たに県全域で2カ所整備



◆朝のこどもの居場所づくりモデル事業 557万円

▶小学校等に見守り員を配置し、「朝のこどもの居場所づくり」の整備をモデル事業として取り組む市町村に対して補助を実施し、検証を行う

上尾市・伊奈町に関する主な事業

◆中央児童相談所一時保護所 解体・建設工事

(管轄区域:上尾市・伊奈町含む8市町) 4億5,245万円

【開設時期】令和9年度予定

【建築概要】2階建て/定員30名

【施設の特徴】①一時保護児童の居室の個室化

②シャワー・トイレ付居室③学習室の充実

スケジュール(見込み)

R7年度	R8年度	R9年度
解体	建設工事	開設・運営
	仮設運営	解体

◆埼玉未来大学におけるリスキリング支援

(県民活動総合センター内)

3,199万円

▶50歳以上の埼玉都民向け広報と意識変容

無料⇒地域活動への導入セミナー、地域ビジネス・市民活動等の基礎講座

▶NPOや地域ビジネスの起業・運営を学ぶオンラインコースを新設



◆スポーツ科学拠点施設整備事業基本計画の見直し

2,756万円

▶Park-PFI手法により上尾運動公園東エリアと一体的に整備することとしていた基本計画を見直し、競技力向上施設と体育館を中心に、導入機能や整備手法を再検討

▶競技力向上施設と既存施設との相乗効果が生み出せるよう、公園西エリアの施設や県立武道館等と連携した上尾運動公園再整備に向けた調査・検討を実施

【これまでの流れ】

昨年7月末に応募登録していた民間事業者が辞退したことにより、公募は不調となりました。これを受け、改めて民間事業者からのサウンディング調査(意見聴取)を実施し、その結果を踏まえて、令和6年度末を目途に「公募設置等指針」の見直しを進める予定でした。

しかし、実施したサウンディング調査においては、事業手法そのものへの懸念に加え、アリーナ・ホテル・レストランなど必須施設の独立採算性や、長期契約に伴う金利変動リスクへの不安など、厳しい意見が多数寄せられました。このような状況を受け、結果的に基本計画そのものを再度見直すこととなりました。

【発行】 埼玉民主フォーラム上尾・伊奈支部 〒362-0036 上尾市宮本町10-26 佐藤ビル102

TEL:048-729-6272 FAX:048-729-6342 Eメール machida188.machida@gmail.com

まちだ 皇介

検索 ▲ まちだ皇介

ホームページはこちらをご覧ください▶▶▶



水村あつひろ

ニュース

埼玉民主フォーラム facebook

2024年4月発行 令和6年度予算特集号

【山あり、谷あり、プロフィール】1974年 所沢市上安松生まれ。
私立慈光幼稚園、市立松井小学校、市立東中学校を卒業。
豊島実業高等学校（現：豊島学院高等学校）を中退後、フリーター、会社員を経験。
この時の経験から『社会で苦労をしている人々の力になりたい』と、政治家になる事を志して、
一念発起して26才で大学へ進学。（在学中は雄弁会にも所属）
拓殖大学政経学部卒業後に、2004年 所沢市議会議員に初当選。2007年に2期目の当選。
2011年 埼玉県議会議員に初当選（西1区＝所沢市）2015年2期目の当選。
2019年3期目の当選。2023年4期目の当選。



今号の
目次

予算特別委員会で議論

令和6年度予算・歴史的課題への挑戦

安心して介護を

大野知事と予算特別委員会で「賃上げに繋がる価格転嫁の取組み」などを議論

賃上げに繋がる価格転嫁の取組みを！

水村 春闘では大手企業で満額回答が相次いだ。一方で中小企業の従業員などか



テレビ埼玉 3月25日放送「埼玉県議会議中継」

らは、物価は上がるのに賃金は上がらないと苦しい声を聴いている。中小企業の方からは、労務費を含めた価格転嫁ができないという声を聴いている。中小企業で働く方にも、物価上昇に追い付く賃上げが必要だ。労務費の適切な転嫁を含めた、円滑な価格転嫁にどのように取り組むのか？働く方の4割に達している、非正規労働者の方の賃上げには、どのように取り組んでいくのか？県が業務委託している公契約の金額についても見直しをすべきだ。

大野知事 中小企業の持続的賃上げ実現には、価格転嫁の円滑化により企業が適切な利益を確保し、賃上げの原資を確保できるよう支援することが重要だ。県では、中小企業が価格交渉のノウハウを獲得して頂けるよう、専門家による伴走型支援を拡充している。今後も、産・官・金・労が一体となって、中小企業の持続的な賃上げに向け、労務費も含め、適切な転嫁ができるよう促していく。

非正規労働者の処遇改善については、県公労使会議において、同一労働同一賃金に向けた取組みなど、国と連携して取り組んでいる。

公契約の価格変動への対応は、スライド制度の

適用など他の自治体の事例も参考にしながら研究をし、可能な限り早期に実現させたい。



テレビ埼玉 3月25日放送「埼玉県議会議中継」

自殺対策の強化を！

水村 自殺の原因として依然として経済生活問題が多い。弁護士や臨床心理士など多職種による経済生活問題と心の問題に対応する「ワンストップ相談会」を、身近に相談できるよう、全ての市町村で実施すべきだ。どのように取り組んでいくのか？電話相談体制等も、もっと拡充すべきではないか？

保健医療部長 相談会の実施の仕方を、市町村に得て頂けるよう16回共催をして、広げていきたい。電話相談体制は相談件数の多い時間帯に回線数を増加させる。

こころの健康相談統一ダイヤル

毎日24時間

回線拡充で繋がりが易く **0570-064-556**

LINE相談 こころのサポート@埼玉(週2日→毎日)

LINE IDで検索(@kokosai)

その他の質問項目

- サーキュラー・エコノミー(循環型経済)の推進における環境と経済の両立について
- 職員のワークエンゲージメント向上の取組
- 高齢者の交通安全対策の推進
- 感染症対策の強化 ●救急医療体制の強化
- 適正受診の更なる推進

2月議会の現場から

子育て支援やDX推進に重点の予算

2月20日から3月27日まで、2月定例県議会を開き、2兆1,197億円（前年度比4.1%減）の令和6年度当初予算案等の知事提出75議案と議員提出議案15件の合計90議案を可決・承認・同意しました。令和6年度の全会計（一般会計・特別会計・企業会計）の合計額は、3兆6,584億円です。

少子化対策には大野知事就任以来最大の1,075億円を投じます。子ども医療費助成や、安心して生活できる場のない妊婦に対する緊急的な居所の提供、男性の家事・育児参加の促進などに新たに予算が付きました。

DX推進では、県立学校の出願手続きのオンライン化や県内中小企業のDX推進、行政の生産性向上などに取り組み、県民サービスと生産性の向上に繋がります。

予特で注文!子育て家庭への経済的支援

県の子ども医療費助成について、補助対象年齢を現在の未就学児までから、通院は小学校3年生まで、入院は中学校3年生までに拡充、所得制限も撤廃します。既に独自に子ども医療費助成を行っている市町村もありますが、県が補助対象を引き上げることにより、各市町村が様々な子育て支援を拡充する事ができるようになります。市町村の財政力により異なりますが、最大で県が1/2を補助します。



現在	
区分	補助対象
通院	就学前児童
入院	就学前児童
所得制限	あり

拡充後	
区分	補助対象
通院	小学校3年生まで
入院	中学校3年生まで
所得制限	なし

対象年齢拡大・所得制限撤廃

水村の指摘 水村は、予算特別委員会で、各市町村の財政負担の軽減分が、確実に子育て支援の拡充に充てられるよう、しっかりと確認・連携していく事を求めました。

その他の特徴的な予算

- **新規** 県立学校の空調設置費・維持管理費
- ビジネススクエラーの仕事と介護の両立支援
- バーチャルユースセンターの設置

所沢関係の予算

- 所沢航空発祥記念館の魅力アップ事業
- 大江戸線や多摩都市モノレールの延伸調査検討費
- 狭山茶魅力アップ支援事業(スタンプラリーなど)
- ナラ枯れ被害緊急対策事業
- 道路・河川などは、国道463号線松郷交差点立体交差化の工事費や飯能所沢線の事業費など30か所

活動トピックス

困難な問題を抱える女性の支援

4月から困難女性支援法が施行され、県では「困難な問題を抱える女性支援基本計画」を策定。水村は1月に、県男女共同参画推進センター(さいたま市)など視察調査して、DVや貧困などで困難な状況にある女性の現状について、現場の声を聞きしました。4月から相談機能などを「県男女共同参画推進センター」に統合し、一時保護や自立支援、アフターケアまでワンストップで担う事となりました。ぜひお気軽にご相談下さい。



センターの所長から現場の声を聴く

相談窓口



男性のための電話相談もあります。

安心して介護が受けられるように

「訪問介護の基本報酬引き下げへの改善要望」を大野県知事に提出。4月から介護報酬の改定が行われ、訪問介護の基本報酬が引き下げられ、このままでは多くの事業所が減収となり、また雇用の確保が困難になり、介護者が十分な介護を受けられなくなる恐れがあります。埼玉民主フォーラムでは介護業界の方などからご意見を頂き、訪問介護の基本報酬引き下げの撤回や、賃金の全産業平均並みへの引き上げなどを、県から国に働き掛けるよう要望しました。



県福祉部長に現場の声を届ける

eスポーツ 所沢市拠点のチームが世界2位に

ところざわサクラタウンで開催された「埼玉eスポーツキャンプ」を見学。年齢・性別・障がいの有無を問わないユニバーサルスポーツとしての面もあり、チームワークや社会的感情の学習もでき教育効果も期待できます。



ところざわサクラタウンをeスポーツの拠点に



ホームページ・SNSで情報発信中!
お問い合わせは…atsuhiro@mizumura.org

連絡先 埼玉民主フォーラム 所沢支部(水村篤弘事務所)

〒359-0034 埼玉県所沢市東新井町256-1 タイビる航空公園202
TEL&FAX.04-2998-6555

水村あつひろ

ニュース

埼玉民主フォーラム facebook

2024年8月発行 水害対策特集号

【山あり、谷あり、プロフィール】1974年 所沢市上安松生まれ。

私立慈光幼稚園、市立松井小学校、市立東中学校を卒業。

豊島実業高等学校（現：豊島学院高等学校）を中退後、フリーター、会社員を経験。

この時の経験から『社会で苦勞をしている人々の力になりたい』と、政治家になる事を志して、一念発起して26才で大学へ進学。（在学中は雄弁会にも所属）

拓殖大学政経学部卒業後に、2004年 所沢市議会議員に初当選。2007年に2期目の当選。

2011年 埼玉県議会議員に初当選（西1区＝所沢市）2015年2期目の当選。

2019年3期目の当選。2023年4期目の当選。



水害への備えを

特別支援学校の過密解消へ

市の保健所設置の支援を

水害・土砂災害に対する備えを

6月から10月は、集中豪雨や台風などで川が増水しやすい時期（出水期）です。埼玉県では、河川の整備や調節池の整備、土砂災害防止施設の整備などのハード対策を進めています。しかしハード対策だけでは守り切れない自然災害は必ず発生します。

そこで県民自身に取り組めるソフト対策が重要となってきます。1つ目は地域のリスクを知ること、想定される浸水範囲や浸水深等を把握して、避難場所や安全な避難ルートを考えておくことが大事です。2つ目は防災情報の確認です。PCやスマートフォンなどで河川に関する防災情報（水位計や河川監視カメラの映像）をリアルタイムに入手できます。3つ目に命を守る為の行動をとる事です。「警戒レベル4」の「避難指示」で必ず避難をして下さい。

水村は6月にも市民の方からご相談を頂き、以前氾濫した柳瀬川の氾濫現場の調査をしました。引き続き災害（水害）対策に全力で取り組んでいきます。

防災情報の確認

水位計とカメラの情報が更に充実

検索 🔍 埼玉県川の防災情報

*都県境の柳瀬川等については「東京都水防災総合情報システム」でしか見られない水位計やカメラの映像もあります。（改善要望中！）



埼玉県LINE公式アカウントでも防災情報など様々な情報が入手できます。
熱中症予防情報も！



川の水位が気になっても絶対に見に行かないで下さい。
PCやスマホで夜間でも鮮明に確認できます。



視察調査報告

看護人材の確保策の現場へ

5月に名古屋大学医学部附属病院の「看護人材の確保や離職防止策」について、視察させて頂きました。同病院はICT（情報通信技術）の活用等により、電子カルテの導入や職員の動線の効率化などの病院全体の、業務負担軽減等に取り組んでいます。看護師として成長できるように充実した教育環境を整え、全国に先駆けて新人看護師を対象とした卒後臨床研修制度を導入しました。

埼玉県は急速な高齢化により、医療・介護ニーズが高まっており、看護人材の確保・定着は重要な課題です。県内の課題解決に反映させていきます。



最新機器による看護師のスキルアップも

6月議会の現場から

6月17日から7月5日まで、6月定例県議会を開き、2月定例会から継続審査となっていた第4期県教育振興基本計画の策定など知事などから提案された7議案と、「電力価格の高騰抑制や安定供給の確保等を求める意見書」や「介護職員や介護支援専門員等の更なる処遇改善を求める意見書」、「学校給食の無償化制度の構築を求める意見書」等の議員提出議案14件の合計21議案について可決・承認・同意しました。

特別支援学校の生徒増加に対応 9億7,680万円

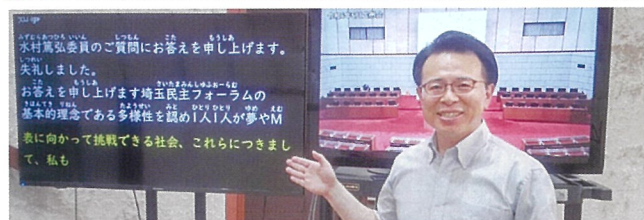
川口特別支援学校の中央棟新築工事の議案を可決。受入人数が96人増加します。2026年4月から受入れを開始します。特別支援学校に通う生徒が増加しており、県では過密が深刻な地域から順次受入人数の増加に取り組んでいます。

水村は所沢特別支援学校など各地の特別支援学校の過密状態の実態を調査して、過密解消に取り組んでいます。

県税条例改正案

資本金1億円超の法人が対象となる法人事業税の外形標準課税制度について、節税の為に資本金を資本剰余金に移し替え、実態は変わらないまま課税対象から外れる法人が増加している状況に対応する条例改正案を可決しました。

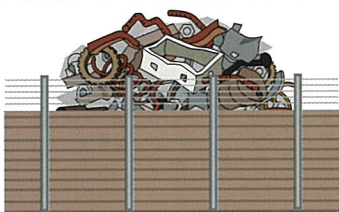
今議会から聴覚障がい者等へ配慮した取組み



音声認識ソフト「UDトーク」による本会議傍聴席での字幕表示。他にインターネットライブ中継でのAI字幕表示。

ヤード規制条例を可決

県内各地で急増している再生資源物（金属やプラスチック製品）の保管場所（スクラップヤード）の問題に対処する為に、再生資源物の保管や処理などについて、必要な規制を行う「ヤード条例」を議員提案条例として可決。事業場面積100㎡以上の事業者、あらかじめ知事の許可（5年ごとの更新制）を受ける事や、事業内容を周辺住民に周知する説明会の開催等を義務付けます。**無許可営業には罰則を設けました。**県の昨年2月の調査では、確認した229カ所（所沢市内は11カ所）のうち、115カ所（所沢市内は2カ所）で騒音や振動、崩落、倒壊の不安などの問題があると判断されました。千葉県や茨城県などでヤード規制条例が制定され、悪質な事業者が県内に流れてくる恐れもありました。



県政トピックス

県警察岩槻高齢者講習センターが開所

5月27日から業務開始となる「岩槻高齢者講習センター」（さいたま市岩槻区）を見学。高齢ドライバー講習の専用施設としては全国初となります。**70歳以上のドライバーは急増しており、県内では70万人を超え、講習を受講する為の待ち時間が長くなっており、免許の有効期限内に更新手続きを完了できない方が生まれる恐れもあり、今回の開設となりました。**70歳以上で免許を更新する方が受ける高齢者講習や、75歳以上の方が受ける認知機能検査などが主な業務です。



歩行者や自転車のシミュレーターなど体験型機器も！

狭山茶の振興を！

県茶業研究所（入間市）で開催された「狭山茶摘み体験フェスタ」を訪ね。県では「狭山茶DX推進研究事業」により、温度センサーデータや病害虫の発生状況等を、いつでもスマートフォン等で確認できるシステムを実証試験中です。



引き続き狭山茶の振興に取り組んでいます。

県と防衛医科大学校が「医療に係る連携に関する協定」を締結

災害時等における医療体制の強化が目的で、医療人材面でも連携が図られます。

所沢市のトピックス

所沢市が保健所を設置へ

6月に所沢市が、県から多くの権限が委譲される中核市への移行目標を、市制施行80周年となる2030年4月とすることを発表。県から保健衛生や環境、福祉等の約1,700件の事務権限が委譲され、市が独自に保健所を設置する事になります。保健所の整備には約25億円、新たに必要な職員数は85人と見込まれています。

なるべく所沢市の負担が少なるよう、埼玉県が全面的に支援をするように取り組んでいます。



ホームページ・SNSで情報発信中！

お問い合わせは…atsuhiko@mizumura.org

連絡先 埼玉民主フォーラム 所沢支部（水村篤弘事務所）

〒359-0034 埼玉県所沢市東新井町256-1 タイビる航空公園202
TEL&FAX.04-2998-6555